

宮城県感染症情報

－ 季節性インフルエンザに注意しましょう －

この冬は、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザが同時に流行する恐れがあります。感染予防に加えて、感染した場合に備え市販薬や日用品等の事前の準備をお願いします。

1 季節性インフルエンザとは

原因：インフルエンザウイルス

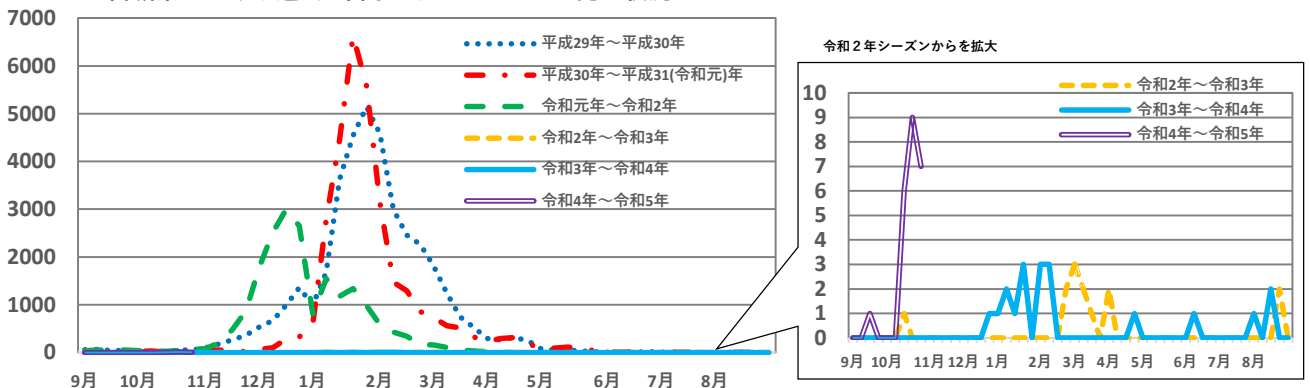
流行期：例年は11月下旬から3月頃まで流行します。

流行のピークは1月から2月で、4月から5月にかけて減少します。

症状：1~3日間の潜伏期の後、38℃以上の発熱、咳、のどの痛み、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が突然現れます。多くの場合、約一週間で軽快しますが、重症化すると、肺炎や脳症等を起こすことがあります。基礎疾患(持病)のある方や乳幼児、高齢者は重症化のリスクが高くなります。

感染経路：飛沫感染（感染者の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸って感染）
接触感染（感染者のくしゃみや鼻水等で汚染された物を他の人が手で触り、その手で鼻や口を触ることでウイルスが体内に入って感染）

患者数（人） 宮城県における過去5年間のインフルエンザ発生状況



2 予防のポイント

(1) 手洗いやマスク着用、人混みを避けましょう

- 外出後や食事前など、こまめな手洗いを徹底しましょう。
石けんによる手洗いは、手指についたウイルスの除去に有効です。
アルコール製剤による手指消毒も効果があります。
- マスクは不織布マスクを使用し、鼻と口の両方を確実に覆い、フィットするよう調節しましょう。
- 流行期間中は人混みを避けましょう。

(2) ワクチン接種を検討しましょう

- ワクチン接種により期待される効果**
発病する可能性の低減、インフルエンザにかかった場合の重症化の防止。
- ワクチン接種で気を付けたいこと：**
ワクチン接種効果出現するまでに2週間程度かかるので、流行が始まる前に接種します。
ワクチンの効果持続期間は、一般的に5ヶ月程度です。
流行するウイルスの型は変わるため、毎年ワクチン接種が重要です。
※ インフルエンザワクチンの接種については医療機関にお問い合わせ下さい。